臨時看護職員・介護職員募集
ケアセンターいちかわ

介護老人保健施設「ケアセンターいちかわ」では、臨時看護職員及び臨時介護職員を、次のとおり募集します。

【募集人員】▽臨時看護職員1名▽臨時介護職員1名
【勤務時間】▽臨時看護職員・日勤▽臨時介護職員・夜勤あり
【応募条件】年齢不問
【待遇】町臨時職員取扱規程を適用
【選考方法】書類審査、面接
【提出書類】履歴書、有資格免許の写し、健康診断書
【受付期間】随時（土・日・祭日を除く午前9時～午後5時まで）
【問い合わせ・申し込み】介護老人保健施設ケアセンターいちかわ（町福祉保健総合ステーション内）☎055（272）5121

敬老会ボランティア募集
市川大門地区敬老会実行委員会

9月20日㈰に市川大門町民会館にて市川大門地区敬老会を行います。当日の受付、接待などお手伝いいただけるボランティアを募集します。

【募集人員】約10名
【募集期限】8月17日（月）
【申し込み・問い合わせ】市川大門地区敬老会実行委員会事務局（社会福祉協議会内）☎055（272）4179

「みさと展」作品募集
みさとの会アート部門

みさとの会アート部会では、10月18日㈰に予定されている「第5回みさとの秋まつり」のなかで、「みさと展」を計画しています。

「みさと展」では、自由な発想とエネルギー溢れる絵画作品を募集しています。

【テーマ・大きさ】自由・1～20号
※可能な限り額装して下さい
【展示場所】大門碑林公園源氏の館
【日程】10月18日㈰
【応募〆切り】9月30日㈬
【搬入・搬出】▽搬入10月17日㈯▽搬出10月18日㈰
【問い合わせ】アート部会長・鈴木美枝☎0556（32）3867
☎090（5495）5637

戦没者遺児による慰霊友好親善事業
山梨県遺族会

㈶日本遺族会は「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。この事業は、厚生労働省から委託、補助を受け実施しており先の大戦で父等を亡くした戦没者の遺児を対象にして戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、同地域の住民と友好親善を図ることを目的としています。

費用は賛助金として一律10万円（沖縄は5万円）です。本年度は次の16地域について実施予定です。

【実施地域】旧満州、旧ソ連、西部ニューギニア、マリアナ諸島、中国、東部ニューギニア、ボルネオ・マレー半島、トラック諸島、パラオ諸島、ソロモン諸島、フィリピン、ミャンマー、沖縄、台湾・バシー海峡、マーシャル諸島、ギルバート諸島
※日程などの詳細は㈶日本遺族会事業課事業係☎03（3261）5521内線3656～8まで
【問い合わせ・申し込み】山梨県遺族会☎055（272）1111

農村女性担い手養成研修
峡南農務事務所

峡南農務事務所では、若手農村女性の方を対象に、農業経営や地域活動の参考となるような幅広い知識の習得を目的とした研修会を開催します。農業経験の有無は問いませんので、お気軽にご参加下さい。

【開催時期】10月から毎月1回開催（全3回）
【場所】西八代合同庁舎（研修内容により変更する場合有り）
【対象】峡南地域在住の女性農業者または今後農業に従事する意向のある女性
【内容】ハーブの基礎知識（ハーブの栽培方法や利用法についての講義及び実習）
【講師】AEAJ認定アロマテラピーアドバイザー磯部民子氏
【受講料】無料（材料費は自己負担）
【定員】20名程度（応募者多数の場合は抽選）
【申込方法】峡南農務事務所農業農村支援課に電話でお申し込み下さい
【申込期限】9月4日㈮
【問い合わせ】峡南農務事務所農業農村支援課（峡南地域普及センター）地域づくり担当☎055（240）4117

町民の皆様にお詫びと誓い

先月、各報道機関にて報道されましたように「後期高齢者医療制度保険料の還付」につきまして、不適切な事務処理がありました。保険料還付該当者はもちろんのこと、後期高齢者医療保険対象者、並びに町民の皆様には多大なる心配とご迷惑をおかけいたしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。

町としましては、再発防止のためにチェック体制の強化・充実を図り、町民の皆様の信頼に応えられますよう職員一同更なる努力を惜しまぬことをお誓いし、謝罪とさせていただきます。

平成21年8月1日

再発防止検討委員会代表　総務課長　岸本正幸

新規就農相談会inやまなし
山梨県農業振興公社

農業に関心のある方へ～山梨の自然の中で農業を実現しよう！

県内で優れた農業経営を実践し、知事の認定を受けている農業士さんが、自らの経験をもとに農業の相談に応じます。

【内容】▽就農支援センターが親身になって研修先などの相談をお受けします。▽県の就農に関する支援策を紹介します。▽県内農業法人が求人説明をします。▽就農に必要な情報を提供します。▽専門学校山梨県立農業大学校を紹介します。
【日時】8月8日㈯・9日㈰午前10時～午後4時まで
【場所】恩賜林記念館2階特別会議室（舞鶴城公園内）
【問い合わせ】▽㈶山梨県農業振興公社☎055（223）5747
▽山梨県農政部農業技術課☎055（223）1619

知っていますか建退共制度
建退共山梨県支部

建退共制度は、中小企業退職金共済法に基づき、建設現場労働者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の振興を目的として設立された退職金制度です。この制度は、事業主の方々が、労働者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

【加入できる事業主】建設業を営む方
【対象となる労働者】建設業の現場で働く人
【掛金】日額310円
【特徴】▽国の制度なので安全、確実、申し込み手続きは簡単です。▽経営事項審査で加点評価の対象となります。▽掛金の一部を国が助成します。▽掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。▽事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。
【注意】▽共済証紙は、労働者の就労日数に応じて適正に添付して下さい。▽「建設業退職金共済手帳」を所持している労働者が、建設業界を引退するときは、忘れずに退職金を請求するよう指導して下さい。
【問い合わせ】建退共山梨県支部☎055（235）4421

昭和34年災害シンポジウム・写真展
国土交通省

昭和34年8月に発生した台風による大災害から50年となる節目を迎え、時代とともに人々の記憶から薄らいでいく中であらためて災害の怖さを知り、地域間の連携の必要性を認識させるシンポジウムや写真巡回展を開催します。

■シンポジウム
【日時】8月29日㈯開場午後1時・開演午後1時30分
【開場】県民文化ホール・小ホール
【内容】被災当時の映像放映、体験者による「語り継ぎ」、パネルディスカッション
【問い合わせ・申し込み方法】住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、はがき、電話、ファックス、またはメールでお申し込み下さい。送り先は山日YBS事業局（〒400－8515甲府市北口2－6－10☎055（231）3121、ファックス055（231）3107、メールsp-event@sannichi-ybs.co.jpへ。

■写真巡回展
【期間】11月下旬まで予定（現在開催中）
【会場】被災地となった共施設や集客施設など県内十数ヵ所を予定しています。（詳細は国交省甲府河川国道事務所や山梨日日新聞・山梨放送ホームページをご覧下さい）
【問い合わせ】山日YBS事業局☎055（231）3121

下水道まつりのお知らせ
釜無川浄化センター

9月の「下水道の日」の行事の一環として、毎年、下水道まつりを行っています。誰でも楽しみながら下水道のことが学べるように、たくさんの催し物が用意してあります。

【日時】9月5日㈯午前10時～午後2時（雨天決行）
【場所】釜無川浄化センター
【催し物】▽下水道施設見学会▽下水道相談コーナー▽下水道教室▽ミニ下水道展（下水道リサイクル製品等の展示）▽水質実験▽ロードトレイン、遊具、大道芸、和太鼓の演奏など▽農産物、特産品の販売▽お楽しみ抽選会、来場記念品プレゼント
※雨天時には、一部の催し物が中止となる場合があります。
【問い合わせ】釜無川浄化センター☎0556（22）8511

ぴゅあ総合講座のお知らせ

山梨県立男女共同参画センター

ぴゅあ総合では今月も生活に役立つ各種講座を企画しています。お気軽にご参加下さい。

■シンポジウム「あなたの力になります！～DVについて考えよう～」

【日時】 8月29日㈯午後1時～3時30分

【場所】 ぴゅあ総合中研修室

【内容】 県内の行政専門機関責任者や担当者と支援活動を行っている民間団体代表者をパネリストにDVの実態や支援活動の紹介、意見交換などを行う。

【対象】 一般50名

■ツボ押し健康講座

【日時】 8月30日㈭午後1時30分～3時

【場所】 ぴゅあ総合中研修室

【内容】 パートナーとともに「足つぼ」の知識を学び健康づくり

【講師】 ぴーかんクラブ代表・大芝公彦さん

【対象】 一般30名（原則としてペアでお申込み下さい）

■表現力＆コミュニケーションUP「表情美学講座」全2回

【日時】 ①8月2日㈰午後1時30分～3時30分 ②8月9日㈰午後1時30分～午後3時30分

【内容】 女性のエンパワーメントを目的に、出会いの第一印象や心の扉を開く会話、人間関係を円滑にするコミュニケーション法などを学ぶ。

【講師】 山田桂子先生（表情コミュニケーション主催・モデリングディレクター）

【対象】 女性一般30名（2回とも受講できる方）

■エンパワーメントセミナー「家庭の中から防災を考える」

【日時】 9月5日㈯午前10時～12時30分

【場所】 ぴゅあ総合中研修室

【内容】 防災週間に家庭の視点から、また、防災食の試食等を通じて防災を考えなおす。

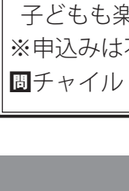
【講師】 ぴゅあネットやまなしメンバー

【対象】 一般30名

【問い合わせ・申し込み】 山梨県立男女共同参画センター☎055（235）4171

鰍沢警察署では、犯罪抑止総合対策を推進中です。

特に高齢者の皆さんの大切なお金を狙った振り込め詐欺や悪質商法にご注意を！



被害にあった時や、疑問に思った時は鰍沢警察署刑事生活安全課☎0556-22-0110までご連絡をお願いします。

いのちの大切さフォトコンテスト

山梨県福祉保健部

「いのちの大切さ」を呼びかけることで、自殺防止につながる写真を募集します。

【応募規定】 カラープリント四切（ワイド四切可）、単写真。

※デジタル写真も可

※作品は自作品で、未発表のもの

※応募用紙は、応募先に設置してあります。応募点数に制限はないが、受賞は一人一点まで。

【応募締切】 8月21日㈮まで

【表彰】 最優秀賞1点、優秀賞2点

【発表】 9月下旬

【応募先】 ▽山梨県カメラ商組合加盟店（写真店）▽株式会社山梨フジカラー取扱店▽山梨県福祉保健部障害福祉課（持ち込み可）

【応募上の注意】 ▽入賞作品は返却しません▽版権は主催者に帰属する▽被写体が人物の場合、肖像権侵害等の責任は負いません▽山梨カメラ商組合加盟店、または㈱山梨フジカラー取扱店を通じて応募した作品で選外作品は、応募店を通じて返却します▽直接応募した作品の返却を希望する方は、返却に必要な分の切手を貼った返却用封筒に住所、宛名を記入して同封して下さい。返却用封筒が同封されていないものは返却しません。

【問い合わせ】 山梨県福祉保健部障害福祉課心の健康・発達障害担当☎055（223）1495

チャイルドセンター友優からのお知らせです

■■ 親子音楽館を開催します ■■

【日時】 8月26日㈬ AM10:30 ～ 11:30

【場所】 市川大門町民会館2階講堂

【内容】 ピアノ、バリトン、ソプラノの3名によるスライドやマジックをおりまぜた演出で、子どもも楽しめるコンサートです。

※申込みは不要。お気軽にご参加下さい。

問チャイルドセンター友優☎ 055-272-5226

■いのちの講演会 開催

「いのちのバトンタッチ」をテーマに、いのちの輝き、家族の絆、生きる喜びなど、生きる力を地域の方々とともに感じ、考える機会にしませんか。

【講師】 第1部・上原雅志氏　第2部・鈴木中人氏

【開催日】 9月5日㈯　午後1時30分～

【会場】 歌舞伎文化公園ふるさと会館

主催・市川南幼稚園　後援・市川三郷町

※参加料無料　※無料託児室あり

問学校法人市川南幼稚園☎ 055-272-1471

さんぽみち

地域の話題や情報をお寄せ下さい
総務課広聴広報係
☎ 055-272-1101

だーい好き「甘々娘」　甘々娘収穫体験

ひまわり保育園と定林寺立正保園では、梅雨明けの発表された7月14日、甘々娘の収穫体験を行いました。

今回、甘々娘の畑を提供してくれたのは樋川保人さん（岩間）。「普段食べる物の収穫の楽しみを知ってもらい、少しでも農業に興味をもってほしい」と話す樋川さんは、昨年から園児たちのために落花生やスイカの収穫も協力いただいています。（写真・甘々娘を収穫し大喜びの園児たち　右・ひまわり保育園　左・定林寺立正園）

ボールを追って、ずーっと青春

市川三郷町家庭婦人バレーボール大会

市川大門町民体育館では6月28日、第25回市川三郷町家庭婦人バレーボール大会が行われました。この大会は、勝負よりもバレーボールを楽しむ事を目的に合併前から続けられており、西八代郡下のチームを集めて開催されていました。今回は、町内9つのクラブチームと、身延町から招待した2チーム、計11チームが参加しました。

楽しむとは言っても、いざ試合に入るとなると本気モード。楽しい中にも真剣な表情が印象的でした。

星に願いを…

市川保育所、市川南幼稚園では役場本庁舎に七夕の飾り付けをした竹を展示しました。それぞれの短冊には園児たちの願い事が書いてあり、それを見守るように笹の葉はサラサラ揺れていました。

願いがかなうといいですね☆彡

おーくりな、おーくりな　　網倉の虫送り

六郷地区網倉では7月18日、伝統行事の「虫送り」が行われました。たいまつを持った住民らの行列が網倉地内周辺を一周した後、五八地区との境界まで行き、そこでたいまつを焼き払います。もともと害虫駆除や、厄よけの目的で江戸時代に始まったそうです。笛、太鼓の調べに合わせて「送りな、送りな、何の虫を送りな、ぼんそう(五八との境界の地名)まで送りな」と謡いながら、約4キロの道のりを練り歩きました。子どもたちの元気な歌声が、印象的でした。

▲歩行浴専用の浴槽があるのは県下でも数カ所しかなく「つむぎの湯」も貴重な設備を備えた施設のひとつです

健康の秘訣、歩行浴　　リハビリ歩行浴講習会

6月25日、つむぎの湯では温泉入浴指導員の小林良子さんによる指導で、リハビリ歩行浴の講習会が行われました。

参加者からは、講師の丁寧な指導でとても楽しく参考になったとの声が多く聞かれました。今後もつむぎの湯では、リハビリ歩行浴の普及をはじめ、健康教室等を積極的に実施していく予定です。

初心者から上級者まで　　町親子バドミントン教室

町教育委員会では体育指導委員会、体協バドミントン部などを講師として、全6回の親子バドミントン教室を開催しました。誰にでも気軽に始められる反面、上級者ともなれば動きの激しさやスピード感は抜群のスポーツです。参加者たちは基礎やルールから学び、楽しみながら体を動かしていました。

▲最終日には今までの練習の総まとめとして試合が行われました

誰でもできる軽スポーツ　町長杯ペタンク大会

第4回町長杯ペタンク大会が7月4日、三珠農村広場で開催されました。ペタンクとはフランスが発祥で、ルール的にはボールを使ったカーリングのような軽スポーツです。大会には町内から25チームが参加し、8ブロックのリーグ戦のあと、トーナメント方式で争われました。優勝はガンバ町屋チーム、準優勝・うわとクラブ、第3位・東村クラブでした。

ペタンクは誰でも簡単にできて、戦略性の高い軽スポーツです。この機会に皆さんも始めてみませんか？

▲体協ペタンク部部長の大竹浩介さん（左）と優勝したガンバ町屋チーム（右3人）

思い出のネクタイが…　扇子袋・ふくさ作り教室

◀「今日は主人のネクタイを使いました。思ったほど難しくありませんでした」と完成品を持ってニッコリ（小林芳子さん）

六郷地区公民館では事業の一環として、7月4日にいらなくなったネクタイを利用した小物作りの教室を開催しました。これは望月京子さん指導のもと、いらなくなったネクタイを利用し、貼り付けや縫いあわせをすることで、ふくさ入れなどの小物として再利用します。捨てられなかったネクタイも、みごと蘇りました。

災害時高齢者生活支援講習

市川三郷町赤十字奉仕団では、7月8日に六郷町民会館で災害時高齢者生活支援講習会を開催しました。講師に山梨赤十字病院の大根田美穂さんを迎え、災害時での高齢者の被災者に対する支援方法や、身近にあるものを使ったガウンやリュックサックの作り方など、実際の現場で役立つ知識を学びました。

◀参加者は赤十字奉仕団を中心とした約70人。ふろしきを使ったリュックサックの作り方を学ぶ講習者

推薦に丹沢正美さん　　ぼたんの花まつり写真コンテスト

▲表彰を受ける丹沢正美さん

▲受賞作品『雨天花里』

ぼたんまつりの折に開催された「ぼたんの花まつり写真コンテスト」の選考会が行われ、最高賞の推薦には丹沢正美さん（上野）の『雨天花里』が選ばれました。「撮影当日は天気も悪く寒かったのにモデルさんも頑張ってくれて、また、ぼたんの花もきれいに咲いていたので良い写真を撮ることができました」と謙虚な丹沢さんでした。

なお入選作品は歌舞伎文化公園に常設展示されます。

お便り

初めての田植え体験は子どもにとって、とても楽しい思い出となりました。小さくてちょっとわかりずらいけど自分が広報の写真に載ったことも、うれしそうでした。（三珠／花火大好きっ子さん／30代女性）

長女、次女を広報に載せていただきありがとうございました。広報紙は多くの人に愛され読まれているんですね。たくさんの人に声をかけて頂きました。これからも毎月楽しみにしています。毎年神明の花火を近くで見られて、市川にお嫁に来てよかったー。（黒沢／あかあおママさん／30代女性）

今後も個人情報には十分気をつけつつ、いろんな意味で町民の顔が見える、また愛される広報紙を目指していきます。7月号の田植え体験で三珠保育所の名前が間違っていました。この場を借りてお詫びいたします。（広聴広報係）

日夜、町民の安全安心を守っている消防団の記事を載せて下さい。9月6日山梨県消防団員操法大会に峡南支部、市川三郷町消防団の代表として第8分団が小型ポンプ操法の部へ出場します。50日間にもおよぶ練習をしています。この機会に是非、取り上げて下さい。（高田／のっぷいの星さん／50代男性）

町でのポンプ操法大会は毎年行っていますが、今年は県大会に峡南支部の代表として本町の消防団が出場します。ポンプ操法大会は放水までのポンプの操作、ホースの接続ほか、礼式、安全確認などが審査され、またいかにそれをスピーディにできるかで順位を競い合います。今回出場するのは第8分団（大同地域）の消防団員から選抜された8人（含補欠4人）。5月の中旬から週3回の練習を行っているとのことで写真を撮ってきました。

本大会は9月6日㈰に山梨県消防学校で本番が行われます。みなさん応援よろしくお願いします。当日の様子はまたレポートします。（広聴広報係）

広報いちかわみさとクイズ

クイズに答えて記念品をゲット！

正解者5名の方に抽選で記念品を差し上げます。
（記念品は月によって内容が変わる場合があります。ご了承下さい）

（必要事項が明記されていない場合は、対象からはずさせていただきます）

《問題》

～ヒントは広報紙の中に～

川柳も俳句も同じ五・七・五の17音定型ですが、一般的に川柳には決まりはなく、俳句には必要とされるものがあります。さてそれは次のうちどれでしょう？

① 風刺
② やりぬく気持ち
③ 季語

ハガキまたはメールで、クイズの答え、**住所、氏名及びペンネーム、年齢、電話番号、広報の感想や町への意見を書き**〒409-3601 市川三郷町市川大門1790-3 市川三郷町役場総務課広聴広報係までご応募下さい。
ims1790@town.ichikawamisato.yamanashi.jp
（締切）8月17日必着

（メルアドQRコード）
対応する携帯電話などで読みとると、本町のメールアドレスを表示します

■先月号の答え

「今年の神明の花火大会のテーマ」は**②番の「キセキ」元気をみんなに**が正解でした。
次の方が当選いたしました。おめでとうございます！記念品をお贈りします。
ジュリーさん、佐藤三枝子さん、花火大好きっ子さん、あかあおママさん、てるちゃんさん

※感想、意見、お叱りのお手紙、私信、写メールなど、なんでも送って下さい。できる限り紹介します。